

2025年3月12日

世界防災フォーラム2025開催報告

1. 開催概要

開催日程 2025年3月7日(金)～9日(日)
会場 仙台国際センター、仙臺緑彩館
主催 WBF 国内実行委員会及び WBF 国際実行委員会
共催 東北大学
後援 内閣府/外務省/国土交通省/復興庁/文部科学省/青森県/岩手県/福島県/
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

2. 参加者速報

本会議事前登録 1,197名 34カ国、EXPO やサイドイベントを含めた3日間の延べ人数5,434名
(参考 前回2023年 1335名 39カ国、World Bosai EXPO なども含む延べ人数5412名)

3. 内容

セッションではテーマの「どうするキコヘン」、気候変動に係るもの13をはじめ、以下のセッションが開催された。また、国連関係機関から3、海外から5のセッションが開催された。

口頭セッション 46セッション

ポスターセッション 41セッション

ミニプレゼンテーション 19セッション

ワークショップ 2

World Bosai Expo(ブース展示) 85ブース、46団体

World Bosai Forum Online(事前録画によるオンライン発表)

映画上映会

「生きる」、「ただいま、つなかん」、「漂流ポスト」「ブルーカーボン」4本上映
いんくるーしぶ防災フェスティバル(帽子のファッションショーやステージ、マルシェ)

4. ポスターセッション表彰者

(P22) 松浦賢一/国立青少年教育振興機構 National Institution For Youth Education

青少年教施設を活用した地域のレジリエンスを高める中高生防災リーダーの育成

(P28) Boret Sebastien 東北大学 Tohoku University

Disaster Educational Programs for Children with Special Needs 20 Years After the 2004
Tsunami: An Interdisciplinary Study of a Special Support School in Banda Aceh in Indonesia

(P35) Yang Zih-Jing /National Taiwan University of Science and Technology

User Interface Design for Volunteered Disaster Image Collection Application on Smart Devices
Presenter;Shih Hsien Yang(Taiwan Tech)"

5. 第二回世界防災賞

・日本

故山奈宗真氏

ご子孫の長谷川 敦子様、菊池 直子様のご登壇

116年前の明治三陸津波の際に、岩手県の沿岸を徒歩で縦断（総距離 700km）し、津波被災地のすべての村を調査。

・海外

故キンタナール（Roman L. Kintanar）氏

Nathaniel T. Servando（ナサニエル・セルバンド様 フィリピン気象庁長官）のご登壇

1958年に29歳でフィリピン気象庁(PAGASA)長官、1978年に世界気象機構（WMO）の会長となり、世界の気象学に多大な貢献を果たした。

6. 報道

多く新聞社や放送局の取材（22申請）を受け、TVや新聞等で大きく報道されました。

7. 概要についてのお問い合わせ先

一般財団法人世界防災フォーラム 担当 吉野

Ken_yoshino@worldbosaiforum.com

022-263-1688

以上